

人口減少社会をどう切り拓くか

平成18年5月16日

三重県議会

提 言

厚生労働省の人口動態統計速報（平成17年6月）によると、平成17年前半の出生数が死亡数を下回り、「2007年（平成19年）から人口が減少に転じる」というこれまでの予測が、更に早くなる可能性が出てきている。

また、2007年から団塊の世代が定年を迎える時期に入るなど、今、社会経済構造の大きな変革の峠に差しかかっている。

三重県議会は、この構造変化の時代に、安心して子どもを産み育てることができ、高齢期を生き生きと生きることができる、また、産業・経済活動も豊かな地域を築いていくために、三重県ではどのようにしていくべきかを検討するため、「人口減少社会をどう切り拓くか」をテーマとして「県民ミーティング（議員と語ろう三重の未来）」を3回（平成17年12月13日（火）・平成18年2月14日（火）・3月24日（金））にわたり開催した。

ここでは、有識者から「人口減少の予測とそれによる影響」や「人口成熟問題の本質と対処策」などのキーノート・スピーチを受けるとともに、三重県議会議会改革推進会議議員14名（うち女性議員2名）からなる議会委員とこれらの議員推薦等による18歳以上の県民24名からなる県民委員による活発な議論が行われ、次の五つを基本の柱として意見の取りまとめを行い、議会に対して「県民ミーティング」から報告が行われたところである。

- ・「高齢者や女性等多様な担い手がある持てる能力を活かして社会に参画すること」
- ・「産み育てることへの女性のストレスを抑える環境づくりをしていくこと」
- ・「働くことと生活の調和の取れた就労環境を形成すること」
- ・「Uターン・Iターンを促し、また定住したくなるような人を惹きつける地域づくりを進めること」
- ・「出会いの場づくりと縁づくり人材の育成、子育て意識を醸成していくこと」

三重県議会としては、人口減少時代における県民の優先課題が五つの基本の柱に集約できたと考え、今後も引き続き県議会の場で検討を行うこととともに、県政の推進に当たっては、五つの基本の柱に係る総合的な人口減少社会対策について適切な措置を講じられるよう、「県民ミーティング」の報告書を添えて提言する。